

カレンダー

(ゴチックは本号に掲載の記事)

会 期	集 会 名 (会 場)	〔 掲 載 号 〕
学術集会・講習会		
2007年4月24日(火)~25日(水)	第93回清酒製造技術セミナー(東京・北とびあ)	〔424〕
5月6日(日)	平成19年度自然観察会「初夏の雑木林」(川崎市・川崎市生田緑地)	〔424〕
7日(月)~9日(水)	第2回ホヤ研究集会「ホヤを用いたライフサイエンスの新しい展開」(静岡県下田市・下田東急ホテル)	〔424〕
8日(火)~11日(金)	第12回清酒製造入門セミナー「明日の企業を担う人材の育成」(東京・日本醸造協会)	〔425〕
15日(火)~16日(水)	第93回清酒経営セミナー(東京・北とびあ)	〔425〕
19日(土)~20日(日)	平成19年度野外生態実習「フローラ調査の方法」(東京・国立科学博物館附属自然教育園)	〔424〕
19日(土)~20日(日)	第4回東京パードフェスティバル2007~野鳥公園発 来てみて楽しむ東京の鳥と海~(東京・東京港野鳥公園)	〔425〕
26日(土)~27日(日)	第10回マリンバイオテクノロジー学会大会(山形市・山形大学小白川キャンパス)	〔421〕
6月3日(日)	平成19年度自然観察会「溪流の生きもの」(東京・高尾山琵琶滝)	〔424〕
9日(土)	第4回日本医学会公開フォーラム「医学・医療の今 - がんに挑む - 肺がん」(東京・日本医師会館大講堂)	〔425〕
15日(金)~18日(月)	平成19年度菌学教育研究会「菌類の多様性と分類」(前期講座) (つくば市・菌学教育研究会筑波センター)	〔425〕
16日(土)~17日(日)	平成19年度野外生態実習「土壌動物の調べ方」(東京・国立科学博物館附属自然教育園講義室および園内)	〔425〕
7月4日(水)~6日(金)	第44回アイソトープ・放射線研究発表会(東京・日本青年館)	〔423〕
4日(水)~6日(金)	第43回日本節足動物発生学会大会(長野県上田市・筑波大学菅平高原実験センター)	〔425〕
31日(火)	(財)ソルト・サイエンス研究財団「第19回助成研究発表会」(東京・日本都市センターホテル)	〔425〕
9月7日(金)~9日(日)	日本植物学会第71回大会(野田市・東京理科大学キャンパス)	〔421〕〔424〕
20日(木)~22日(土)	日本動物学会第78回大会(弘前市・弘前大学)	〔421〕〔423〕
27日(木)	ソルト・サイエンス・シンポジウム2007(東京・早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール)	〔425〕

生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合の詳細については、本ニュースの巻末をご覧ください。

生物科学ニュース編集委員会 電話 03-3814-5461 (10時半から4時まで(水曜日のみ))

FAX 03-3814-6216 E-mail bsnews@bsj.or.jp

(社)日本植物学会、(社)日本動物学会へのお問い合わせは下記のとおりをお願いします。

(社)日本植物学会 電話 03-3814-5675 (9時半から4時半まで)

FAX 03-3814-5352 E-mail bsj@bsj.or.jp

(社)日本動物学会 電話 03-3814-5461 (9時から4時まで)

FAX 03-3814-6216 E-mail zsj-society@umin.net

国際会議

2007年7月18日(水)~20日(金) 第2回移動知シンポジウム(兵庫県・兵庫県立淡路夢舞台国際会議場)〔423〕

11月19日(月)~23日(金) 第9回植物の嫌気応答に関する国際会議「作物と野生植物の冠水適応生物学」(The 9th Conference of the International Society for Plant Anaerobiosis (ISPA) - Molecular, Physiological and Ecological Adaptations to Flooded Conditions by Crops and Native Plants -)〔宮城県・ホテル松島大観荘〕〔423〕

公 募

2007年5月11日(金) (独)日本学術振興会平成20年度採用分特別研究員 - RPD「出産・育児による研究中断者への復帰支援フェロシップ」〔425〕

11日(金) 平成19年度公益信託 四方記念地球環境保全研究助成基金〔425〕

11日(金) 平成19年度公益信託 増進会自然環境保全研究活動助成基金〔425〕

6月8日(金) (独)日本学術振興会平成20年度採用分特別研究員〔425〕

7月31日(火) 2007年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「奨励賞」〔424〕

8月31日(金) 第24回(平成19年度)井上学術賞〔424〕

9月11日(火) 第48回(平成19年度)東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成〔425〕

20日(木) 第24回井上研究奨励賞〔424〕

求 人

2007年5月31日(木) 神奈川大学理学部生物科学科助手(任期制)1名〔425〕

7月6日(金) 京都大学霊長類研究所社会生態部門教授1名〔424〕

学術集会

第4回東京バードフェスティバル2007~野鳥公園発来てみて楽しむ東京の鳥と海~が、5月19日(土)~20日(日)〔午前10時~午後4時〕に、東京港野鳥公園(東京都大田区東海3-1)で開かれます。内容は次のとおりです。

NPO・行政・企業の自然環境事業への取り組み紹介/野鳥・自然関連グッズ、観察機器の紹介・販売/海や鳥にちなんだトークショー、鳥や自然の観察会、イラスト教室など。

詳細についてはホームページをご覧ください。

料金はフェスティバル期間中のみ入園無料です。
〔問合先〕135-0054 東京都江東区青海2-43 青海フロンティアビル10階 (財)東京港埠頭公社総務部内 東京バードフェスティバル実行委員会事務局 TEL 03-3599-7305 FAX 03-3599-7491 E-mail tbf@tptc.or.jp ホームページ <http://www.birder.jp/tbf2007/tbf2007.htm> (随時更新)

第4回日本医学会公開フォーラム「医学・医療の今 - がんに挑む - 肺がん」が、6月9日(土)〔午後1時~4時〕に日本医師会館大講堂(東京都文京区本駒込2-28-16)で開かれます。内容は次のとおりです。

「禁煙の重要性」(大阪府立健康科学セ・中村正和), 「診断の進歩と問題点」(国立がんセンター・金子昌弘), 「手術療法の進歩」(兵庫県立成人病セ・岡田守人), 「肺がんの薬物療法」(近畿大医・岡本 勇), 「患者の立場から - 肺がんと私 - 」(曾我ひとみ)/フロアーとの質疑応答/総司会(国立がんセンター総長・垣添忠生)

参加費は不要です。出席者は討論に参加できます。参加希望者は、「FAX 送信」、「郵便はがき」または「日本医学会ホームページ登録」で申し込んでください(記入項目:氏名,住所,電話,職業)。参加申し込み後10日以内に本会より入場券を送付します(定員に達した場合は送付しません)。定員は500名(先着順)です。

〔問合先〕113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内 日本医学会 TEL 03-3946-2121(代) FAX 03-3942-6503 ホームページ <http://www.med.or.jp/jams/>

第43回日本節足動物発生学会大会が、7月4日(水)~6日(金)に、筑波大学菅平高原実験センター(長野県上田市菅平高原)で開かれます。内容は次のとおりです。

発生学、形態学を中心とした節足動物に関する研究成果が約20題の一般講演として発表、討議されます。今回は一般講演の他に、JSPS 外国人招聘研究者(短期)の補助を受け昆虫の精子研究者として著名な Romano DALLAI 教授(イタリア・シエナ大学)、また、昆虫の比較形態学・系統学のリーダーである Klaus-Dieter KLASS 博士(ドイツ・ドレスデン動物博物館)を招待して、下記のシンポジウムが開かれます。

シンポジウム「六脚類の高次系統の再構築 - 比較生殖学からのアプローチ -」; 1. 「六脚類の高次系統構築の現状」(K. -D. KLASS); 2. 「精子微細構造学からの六脚類高次系統構築へのアプローチ」(R. DALLAI); 3. 「比較発生学・比較卵巣学からの六脚類高次系統へのアプローチ」1) 「六脚類ベールクレードの比較発生学的再構築」(筑波大生命環境科学研・町田龍一郎), 2) 「旧翅類の比較発生学的検証」(信州大理生物・東城幸治), 3) 「多新翅類に関しての比較発生学からのトピックス」(横須賀市自然史博物館・内船俊樹, 筑波大生命環境科学研・町田龍一郎), 4) 「準新翅類に関しての比較卵巣学からのトピックス」(福島大共生システム理工・塘 忠顕), 5) 「貧新翅類に関しての比較発生学からのトピックス」(首都大学東京理工学系生命・小林幸正)

詳細はホームページをご覧ください。参加希望の方は5月末日までにご連絡ください。参加費(2泊3日宿泊費, 食費, 懇親会費込み)は、一般22,000円, 学生17,000円を予定しています(参加態様で費用がことなりますのでお問い合わせください)。

〔連絡先〕 386-2204 長野県上田市菅平高原1278-294 筑波大学菅平高原実験センター 第43回日本節足動物発生学会大会運営委員会(代表 町田龍一郎) TEL 0268-74-2002 FAX 0268-74-2016 E-mail machida@sugadaira.tsukuba.ac.jp ホームページ <http://www.sugadaira.tsukuba.ac.jp/aeis/index.html>

(財)ソルト・サイエンス研究財団による「第19回助成研究発表会」が、7月31日(火)に、日本都市センターホテル(東京都千代田区平河町)で開かれます。

参加費は無料です。参加希望者は財団に電話・FAX・メール等で事前に申し込んでください。詳細はホームページをご覧ください。

〔問合先〕 106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3F (財)ソルト・サイエンス研究財団 TEL 03-3497-5711 FAX 03-3497-5712 E-mail saltscience@mve.biglobe.ne.jp ホームページ <http://www.saltscience.or.jp>

ソルト・サイエンス・シンポジウム2007が、9月27日(木)に、早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール(東京新宿区西早稲田)で開かれます。内容は次のとおりです。

課題: 「塩の味と健康」講演内容: 1) 味覚の相互作用(東北大院・駒井三千夫), 2) こわい低ナトリウム血症 - そのしくみと対策(自治医科大・石川三衛), 3) 農業における塩の利用 - 美味しい野菜づくり(高知大農・北野雅治)。

参加費は無料です。参加希望者は財団に電話・FAX・メール等で事前に申し込んでください。詳細はホームページをご覧ください。

〔問合先〕 106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3F (財)ソルト・サイエンス研究財団 TEL 03-3497-5711 FAX 03-3497-5712 E-mail saltscience@mve.biglobe.ne.jp ホームページ <http://www.saltscience.or.jp>

講 習 会

第12回清酒製造入門セミナー「明日の企業を担う人材の育成」が、5月8日(火)~11日(金)に、日本醸造協会(東京都北区滝野川2-6-30)で開かれます。

5月8日: 酒造の基礎知識, 清酒の造り方()原料処理から火入れ・濾過まで, 清酒酵母の取り扱いと酒質 / 9日: 清酒の造り方()製成から貯蔵・出荷管理まで, 製造工程及び製品の微生物管理, 清酒成分分析の知識, きき酒の知識と実践 / 10日及び11日: 実習 微生物管理と分析, 1) 火落菌検出法, 2) 生酸菌検出法, 3) 一般分析

参加費は会員42,000円(税込・テキスト代含)です。定員は40名で、定員になり次第締め切ります。詳細は下記に問い合わせてください。

〔申込・問合先〕 114-0023 東京都北区滝野川2-6-30 (財)日本醸造協会 TEL 03-3910-3853 FAX 03-3910-3748

(25)

第93回清酒経営セミナーが、5月15日(火)~16日(水)に北とびあ701集会室(東京都北区王子1-11-1)で開かれます。内容は次のとおりです。

5月15日: 1) 日本酒メーカーのサバイバル戦略, 2) 農業と日本酒のゆくえ, 3) 上司の頭はまる見え - 女性を戦力化, 勝ち組に -, 4) 海外清酒事情と輸出支援

5月16日: 5) シニア社会から成熟社会, そして不老社会へ - これからの日本人の飲酒風景 -, 6) できるヤクルトレディーの仕事術, 7) 若者の生活消費行動と酒, 8) 日本酒復興への課題 - 日本酒の酒質と今後の市場 -
参加費は会員44,100円, 非会員61,740円(税込・テキスト代含)です。定員は50名で, 定員になり次第締め切ります。詳細は下記に問い合わせてください。

[申込・問合せ] 114-0023 東京都北区滝野川2-6-30 (財)日本醸造協会 TEL 03-3910-3853 FAX 03-3910-3748

平成19年度菌学教育研究会「菌類の多様性と分類」(前期講座)が、6月15日(金)~18日(月)に、菌学教育研究会筑波センター(茨城県つくば市筑波2074-3-4)で開かれます。日程は次のとおりです。

平成19年度前期講座4日間コースです。

平成19年度講座日程(午前10時~午後5時)

6月15日(金)顕微鏡の使い方(菌学教育研究会・浅井郁夫, 土居祥兌)

6月16日(土)プレオスポラ目の分類(弘前大・田中和明)

6月17日(日)午前: 東アジアのマツタケ調査(京都菌類研・山中勝次)/昼 総会/午後: 食品菌学50年の歩み(マイコトキシン研究と共に)(日本食品分析セ・宇田川俊一)

6月18日(月)チャワンタケ類の分類(国立科学博物館・細矢 剛)

なお、6月19日(火)には、希望者にセンターの実習会場と顕微鏡などを開放します。

宿泊施設は、センターの施設を利用される方は寝袋などを持参下さい。1泊1,000円です。他につくば市営の「ふれあいの里」は1泊2食付で4,200円があります。交通手段については下記に問い合わせてください。

募集人員は、1講座 6月15日は10名, 6月16, 18日は約25名, 6月17日は約50名です。参加費は、1日につき 正会員一般 3,000円 正会員学生 2,000円(非会員の方は1,000円増)です。申込は、「申込はがき」を送

りますので下記にご連絡ください。

[問合せ・連絡先]

1) 187-0032 東京都小平市小川町2-1299-49 菌学教育研究会事務局 布村公一 TEL&FAX 042-343-6836 E-mail bzg22155@nifty.com

2) 300-4352 茨城県つくば市筑波2047 TEL 090-5440-6882 土居祥兌(センターの電話は、029-867-2254ですが、不在のことが多いです。) E-mail ydsotowa@ce.wakwak.com

3) 190-0182 東京都西多摩郡日出町平井2196-152 近藤和彦 TEL 042-597-1166 E-mail hinodekon@ybb.ne.jp

平成19年度野外生態実習が、国立科学博物館附属自然教育園講義室および園内(東京都港区白金台5-21-5)で、下記の日程で行われます。

6月16日(土)~17日(日)「土壌動物の調べ方」/講師: 横浜国大・原田 洋

対象は、生態学および個々の専門の基礎的知識を有する小学校・中学校・高等学校の教員, 大学生, 研究者および一般, ただし, 実習の全日程に出席できる方に限ります。募集人員は20名で, 実施日1か月前から電話で受け付けます。受講料は3,000円(教材費等)です。実習経費納入(通信欄に受付番号明記)後(郵便振替 00100-3-24945, 財団法人野外自然博物館後援会), 受講票が郵送されます(当日持参)。参加の詳細は下記に問い合わせてください。

[問合せ先] 108-0071 東京都港区白金台5-21-5 国立科学博物館附属自然教育園 TEL 03-3441-7176 (9時~17時 ただし月曜日は休園)

公 募

(独)日本学術振興会平成20年度採用分特別研究員 - RPD「出産・育児による研究中断者への復帰支援フェロシップ」を募集しています。

申請資格は、大学院博士課程修了者等で、平成19年4月1日から遡って過去5年以内に、出産または子の養育のため、概ね3ヶ月以上やむを得ず研究活動を中断した方です。年齢・性別は問いません。採用期間として申請者は、次のいずれかを選択することができます。

1) 平成20年4月1日~平成22年3月31日(2年間)

2) 平成20年7月1日~平成22年6月30日(2年間)

3)平成20年10月1日～平成22年9月30日(2年間)

4)平成21年1月1日～平成22年12月31日(2年間)

平成20年度採用分募集より「電子申請システム」で申請を受付ます。申請者はあらかじめ研究に従事する予定の機関を通じID・パスワードを取得してください。電子申請システムは、平成19年4月上旬からログインできるようになります。募集要項は、大学等の研究機関または本会ホームページにて入手してください。申請受付期間は、5月7日(月)～11日(金)(必着)です。

〔連絡先〕102-8472 東京都千代田区一番町8 独立行政法人 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員-RPD 募集担当 TEL 03-3263-5070(ダイヤルイン) ホームページ <http://www.jsps.go.jp> (電子申請ご案内ページ <http://www-shinsei.jsps.go.jp>)

平成19年度公益信託 四方記念地球環境保全研究助成基金の助成対象者が募集されています。

若手研究者(大学院生等を含む)で、海外を場とした現地での調査をとまなう独立した研究を対象とします。

1)熱帯雨林の減少、砂漠化の進行等の地球規模の自然環境問題、2)絶滅の恐れのある生物等の生態及びその保護・回復、3)人間の生活と両立する自然環境、野生生物等の管理手法に関する調査・研究に対し、1あるいは2件、総額50万円が助成される予定です。

応募締切は5月11日(金)(当日消印有効)です。募集要項、申請書等は下記宛に直接ハガキかFAXで請求してください。また下記ホームページからも当該文書をダウンロードできます。

〔申請書請求先・問合せ先〕110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 (財)自然環境研究センター内 公益信託四方記念地球環境保全研究助成基金事務局 TEL 03-5824-0960 FAX 03-5824-0961 ホームページ <http://www.jwrc.or.jp/> 担当 川瀬・^{ユモダ}菰田

平成19年度公益信託 増進会自然環境保全研究活動助成基金の助成対象者が募集されています。

小・中・高・大学などの教員、大学および大学院に在籍する方、各種研究機関に所属する方、各学会または然るべき専門家の推薦を受けた方で、1)絶滅のおそれのある小動物の保護・増殖に関する調査・研究、2)絶滅のおそれのある小動物の保護に係る生息環境保全および環境復元・回復に関する調査・研究に対し、5件以内、1件50万円が助成されます。

応募締切は5月11日(金)(当日消印有効)です。申請書は下記宛に直接ハガキかFAXで請求してください。また下記ホームページからも当該文書をダウンロードできます。

〔申請書請求先・問合せ先〕110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 (財)自然環境研究センター内 公益信託増進会自然環境保全研究活動助成基金事務局 TEL 03-5824-0960 FAX 03-5824-0961 ホームページ <http://www.jwrc.or.jp/> 担当 川瀬・^{ユモダ}菰田

(独)日本学術振興会平成20年度採用分特別研究員を募集しています。

申請資格は、平成20年4月1日現在、次のいずれかに該当する者で、下記の年齢要件を満たす者です。1)大学院博士課程在学者(DC1・DC2)(大学院修士課程第2年次から申請可能)、2)大学院博士課程修了者等(PD・SPD)。【年齢要件】1)3年制または5一貫制の博士課程在学(修了)者:34歳未満、2)医学(次の3)を除く)、歯学または獣医学を履修する4年制の博士課程在学(修了)者:36歳未満、3)医師法により義務付けられた2年以上の臨床研修を修了した者で、医学を履修する4年制の博士課程在学(修了)者:37歳未満。

採用期間は、(DC1・PD・SPD)平成20年4月1日～平成23年3月31日(3年間)、(DC2)平成20年4月1日～平成22年3月31日(2年間)です。

「電子申請システム」で申請を受付ます。申請者はあらかじめ研究に従事する予定の機関(DC1申請の場合は、現在在学している大学院)を通じID・パスワードを取得してください。電子申請システムは、平成19年4月上旬からログインできるようになります。募集要項は、大学等の研究機関または本会ホームページにて入手してください。申請受付期間は、6月4日(月)～8日(金)(必着)です。

〔連絡先〕102-8472 東京都千代田区一番町8 独立行政法人 日本学術振興会 研究者養成課 特別研究員募集担当 TEL 03-3263-5070(ダイヤルイン) ホームページ <http://www.jsps.go.jp> (電子申請ご案内ページ <http://www-shinsei.jsps.go.jp>)

第48回(平成19年度)東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者が募集されています。

1)科学技術賞:学術上の業績が顕著なもの、学術上重要な発見をしたもの、重要な発明をしてその効果が大

きいもの、技術上重要な問題を解決して技術の進歩に大きく貢献したものに対し(2件前後)、1件につき賞状、金メダルおよび賞金(500万円)が贈られます。

2) 科学技術研究助成：国内の研究機関において自らのアイデアで萌芽的基礎研究に従事しており、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者(原則として推薦時45才以下)に対し、総額1億3千万円、1件3千万円程度まで10件程度が助成されます。

1, 2ともに推薦を希望する人は、所定の用紙に必要事項を記入し、関係学会へ提出してください。財団への締切は10月10日(水)必着)ですが、詳細は関係学会へ問い合わせてください。植物学会、動物学会への締切は9月11日(火)です。

尚、各推薦書用紙は、ホームページ(<http://www.toray.co.jp/tsf/index.html>)からもダウンロードできます。

求 人

神奈川大学理学部生物科学科で助手(任期制)1名が公募されています。

専門分野は植物を材料にした生物科学です。任期は、2007年10月1日~2012年9月30日まで(5年間)で、職務内容は生物科学実験などの担当および卒業研究・院生の指導補助、実習室の管理および研究機器類の保守などです。

応募資格は修士の学位を取得した方、着任時に満30歳以下の方を求めています。

提出書類は、本学科における教育についての抱負、これまでの研究概要と今後の研究計画、履歴書、研究業績目録、など計7点です。

応募締切は、2007年5月31日(木)消印有効)です。応募の詳細は下記に問い合わせてください。

〔問合先〕神奈川大学 理学部 生物科学科 主任 日野 晶也 Email: hino001@kanagawa-u.ac.jp 学科と本公募の詳細については、<http://www.bio.kanagawa-u.ac.jp> をご覧ください。

そ の 他

(財)東レ科学振興会による研究助成の公募がありましたことは既にお知らせしましたが〔413〕、次の方に決まりました。

第47回東レ科学技術研究助成：岡山大院自然科学・高橋 卓ほか 9件 総額1億3,000万円

(財)下中記念財団による研究助成の公募がありましたことは既にお知らせしましたが〔416〕、次の方に決まりました。

第45回(平成18年度)下中科学研究助成金：神戸市立六甲アイランド高・丹羽信彰ほか 29件

(財)ソルト・サイエンス研究財団による研究助成の公募がありましたことは既にお知らせしましたが〔419〕、次のように決まりました。

平成19年度研究助成

【一般公募研究】北海道大創成科学・髙田 智

【農学・生物学分野プロジェクト研究】

神戸大内海環境教育研究セ・村上明男

寄贈図書の書評希望者募集

生物科学ニュース編集委員会では、本委員会に寄贈されました下記の本の書評希望者を募集いたします。謝礼と致しまして書評した本を差し上げます。希望者は編集委員会まで葉書、FAX または E メールでご連絡ください。書評をお願いする場合は本と執筆要領をお送りいたします。但し希望者多数の場合、どなたをお願いするかは編集委員会に一任願います。尚、出版社より編集委員会に書評依頼のあった単行本以外の書評、および書評の投稿は受け付けておりませんのでご了承ください。お書きいただいた書評は、生物科学ニュースのみならず、日本動物学会および日本植物学会のホームページにも掲載される場合があります。この点を、あらかじめご了承ください。

マネジメントの生態学・生態文化・環境力回復・環境経営・資源循環 - 鈴木邦雄著 304頁 2006年 共立出版 3,300円(本体価格、以下同)/地球環境と生態系 - 陸域生態系の科学 - 武田博清、占部城太郎編集 282頁 2006年 共立出版 4,000円/新・生命科学ライブラリ B5 細胞の形とうごき V 細胞の運動と制御 大日方昂著 206頁 2006年 サイエンス社 2,200円/よみがえる恐竜・古生物 ティム・ヘインズ、ポール・チェンバース著 椿 正晴訳 群馬県立自然史博物館監修 215頁 2006年 ソフトバンククリエイティブ 2,800円/植物ホルモンの分子細胞生物学 - 成長・分

化・環境応答の制御機構 - 小柴共一, 神谷勇治, 勝見
 允行編 286頁 2006年 講談社サイエンティフィック
 4,200円 / 遺体科学の挑戦 遠藤秀紀著 209頁 2006年
 東京大学出版会 2,900円 / 環境生物科学 - 人の生活を
 中心とした -(改訂版) 松原 聰著 236頁 2006年
 裳華房 2,600円 / 動物学名の仕組み - 国際動物命名規
 約第4版の読み方 - 大久保憲秀著 301頁 2006年
 伊藤印刷出版部 2,858円 / 生命のエンジン - 美しき生
 命と機械エンジン駆動力の源泉は何か - 内藤 健著
 248頁 2006年 シュプリンガー・ジャパン 3,000円 /
 ヒグマ学入門 - 自然史・文化・現代社会 天野哲也, 増
 田隆一・間野 勉編著 273頁 2006年 北海道大学出
 版会 2,800円 / 生命科学史 遠山 益著 217頁 2006年
 裳華房 2,200円 / 新・生命科学ライブラリ - 生物再発
 見4 細胞性粘菌のサバイバル 環境ストレスへの巧み
 な応答 漆原秀子著 133頁 2006年 サイエンス社

1,800円 / ネズミの分類学 - 生物地理学の視点 金子之史
 著 302頁 2006年 東京大学出版会 5,000円 / エッセ
 ンシャル生化学 Charlotte W. Pratt, Kathleen Cornely
 著 須藤和夫, 山本啓一, 堅田利明, 渡辺雄一郎訳
 555頁 2006年 6,500円 / 発生遺伝学 - 脊椎動物のから
 だと器官のなりたち 武田洋幸, 相賀裕美子著 197頁
 2007年 東京大学出版会 3,400円 / 鳥類学用語集 日
 本鳥学会用語委員会編 343頁 2006年 日本鳥学会
 3,000円 / 自然再生のための生物多様性モニタリング
 鷺谷いづみ, 鬼頭秀一編 233頁 2007年 東京大学出
 版会 2,400円
 [連絡先] 113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビ
 ル 生物科学ニュース編集委員会 FAX 03-3814-6216
 E-mail mkato@cc.ocha.ac.jp または chu@hc.cc.keio.
 ac.jp